早期発見 早期治療

認知症は「脳の病気」。早期発見、早期治療がとても大切です。早期発見のポイントや、地域が出来ることなどについて富士内科クリニック院長の吉田先生にお話を伺いました。

富士内科クリニック院長
吉田直哉先生

認知症は脳の病気

脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなり、障害が起こり、日常生活に支障が出る状態（およそ6か月以上継続）が認知症です。

認知症を引き起こす病気のうち、もっとも多いのは、脳の神経細胞がゆっくりと死んでいく「変性疾患」と呼ばれる病気です。アルツハイマー病、前頭・側頭型認知症、レビー小体病などがこの「変性疾患」にあたります。

続いて多いのが、脳梗塞、脳出血、脳動脈硬化などのために、神経の細胞に栄養や酸素が行き渡らなくなった結果、その部分の神経細胞が死んだり、神経のネットワークが壊れてしまう脳血管性認知症です。

いわば脳の病気である認知症についてのお話を、富士内科クリニック院長の吉田直哉先生に伺いました。

認知症の初期症状

もっとも多いのが、同じことを何回も言うケースです。また、今日が何日かわからないといった日にちを忘れるという症状が多いですね。

ただし、本人や周囲が「おや？」と思っても初期症状を見逃す場合があります。何故かと言うと『とりつくろい現象』といって、本人が言い訳などをし、上手くその場の話の辻褄（つじつま）を合わせてしまい、周囲が気がつくのが遅れてしまうというケースがあるんです。しかし、認知症は早期発見、早期治療がとても大切なのです。

早期発見のポイント

家族や周囲の人が「どうもいつもと様子が違う」と感じることが大切です。そう感じたらすぐにかかりつけ医、または地域包括支援センターなどで相談してください。

認知症を理解する

最も大切なのは家族や周囲の人が認知症について学び、理解することです。認知症について関心がないと、いざ自分や周囲に予兆があった時、気づかずに手遅れとなってしまうかもしれません。だからこそ認知症を理解する必要があります。

また、認知症の人の自尊心を尊重してください。認知症になっても感情は残っています。心に寄り添いながら、残された能力を活かせるようにサポートをすることが重要なことです。

認知症の正しい理解を

高齢になるほど発症率が高くなるといわれる認知症。認知症の人とその家族の住み慣れた地域での生活を支援し、認知症を早期に発見・治療するため、認知症について正しい理解が必要です。

認知症について正しく理解する方法の一つに「認知症サポーター養成講座」の受講があります。認知症に関する正しい知識と理解を身に付けた「認知症サポーター」を養成するため90分を標準とする講座です。

日常生活の中で認知症の人と出会ったときに、その人の尊厳を損なうことなく、適切な対応をすることで、認知症の人と認知症の人を介護する家族を見守り、応援者となることが期待されています。

オレンジリング

認知症サポーターには「目印」となるブレスレット（オレンジリング）を配付。認知症の人とその家族を支援する連携の「印」になる意味が込められています。

養成講座に参加する

定期的に開催されています。次回は6月30日に開催します。詳細は、左ページをご覧ください。

こんなことがあったら認知症の症状かもしれません

- □ 同じことを言ったり聞いたりする
- □ 物の名前が出てこなくなった
- □ 以前あった関心や興味が失われた
- □ 置き忘れやしまい忘れが目立つ
- □ 日課をしなくなった
- □ 時間や場所の感覚が不確かになった
- □ だらしなくなった
- □ 計算間違いが多くなった
- □ ささいなことで怒りっぽくなった
- □ 蛇口やガス栓の締め忘れが目立つ
- □ 財布を盗まれたと言う
- □ 慣れているところで道に迷った
- □ 複雑な TV ドラマが理解できない
- □ 以前よりも疑い深くなった
- □ 処方薬の管理ができなくなった
- □ 夜中に急に起き出して騒いだ
- □ いつも降りる駅なのに乗り過ごした

認知症の人が集団生活をおくる施設 町内のグループホーム「そよ風」から

認知症の人が認知症の自覚がないケースもあります。客観的におかしいと思うことも、本人は普通にしているだけの場合もあるので認知症に対する理解を地域や周囲が深めていくことが大切なことだと思います。

三芳グループホーム そよ風
センター長 **平本 賢司さん**

WEB で簡単！ 認知症チェック

「家族・介護者向け / 本人向け」を選択可能

認知症は早期発見が重要です。早期に治療をすることで症状が改善したり、進行を遅らすことができる可能性があります。町ホームページから認知症のチェックが簡単にできます。チェック結果と一緒に認知症の相談機関が表示されます。ぜひご利用ください。

三芳町簡易チェック

問 地域包括支援センター 049-258-0019 内線 188・189

認知症サポーター養成講座

県の講習を受けた職員などが講師として、認知症の症状や予防、認知症の人への対応方法など、認知症に対する基礎知識を学習する講座を開催します。

日程 **6月30日㊋**　時間 **14：00～15：30**

会場 **竹間沢公民館**

問 地域包括支援センター 049-258-0019 内線 188・189

いもっこ体操健康教室参加者募集

食事や栄養についての講話、脳トレ体操など、はつらつとした毎日を送るためのポイントを学ぶことができます。

6月開催予定

6月23日㊋（藤久保４区集会所）
6月29日㊊（藤久保５区第２集会所）

時間 **10：00～11：30**

参加費無料。誰でも参加できます。申込不要。
直接会場にお越しください。

問 地域包括支援センター 049-258-0019 内線 188・189